



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社

コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）塩田 徹

問合せ先責任者 （役職名）副社長執行役員 経営管理本部長 （氏名）中 研悟 TEL 06-7655-5000

半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	10,510	4.9	112	310.5	352	219.2	217	ー
2025年3月期中間期	10,021	8.6	27	ー	110	ー	△8	ー

（注）包括利益 2026年3月期中間期 263百万円（ー％） 2025年3月期中間期 △55百万円（ー％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	2.20	ー
2025年3月期中間期	△0.08	ー

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	19,295	14,652	75.9
2025年3月期	20,202	14,629	72.4

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 14,652百万円 2025年3月期 14,629百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	ー	0.00	ー	1.00	1.00
2026年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2026年3月期（予想）	ー	ー	ー	1.00	1.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	3.1	1,000	153.0	1,100	57.4	660	159.7	6.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	101,295,071株	2025年3月期	101,295,071株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,908,318株	2025年3月期	1,188,218株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	98,757,402株	2025年3月期中間期	101,294,534株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう美と健康に関する多彩な商品・サービスを提供する『美の総合総社』の実現に向け、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品並びに、マタニティ及びベビー関連商品、婚礼・宴会関連事業、美容関連事業など、魅力ある商品・サービスの拡充を推進しております。

当中間連結会計期間における我が国経済は、企業による賃上げの広がりや雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直すなど、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、ロシア・ウクライナ情勢や中東地域における地政学的リスク、資源・原材料・エネルギー価格の高止まりなど、外部環境が企業活動に影響を及ぼしており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした経営環境のもと、主力事業である婦人下着及びその関連事業においては、人的資本の拡充を目的とした採用・育成強化の推進や、新テレビCMの放映など、中長期的な成長を見据えた先行投資を実施した結果、補整下着の販売が堅調に推移いたしました。

さらに、全社的に経費の最適化を推進いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高105億10百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益1億12百万円(前年同期比310.5%増)、経常利益3億52百万円(前年同期比219.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益2億17百万円(前年同期は8百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)と、前年同期比で増収増益となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの概要は次のとおりであります。

#### [婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売をしております。

当中間連結会計期間におきましては、補整下着の販売が引き続き堅調に推移いたしました。

2025年4月には主力商品シリーズ「mon marier cherire(モンマリエシエリル)」の新色「mon marier cherire silver(モンマリエシエリルシルバー)」(数量限定)、5月には「Curvaceous Kales(カーヴィシヤスカレス)」の新色「Kales Warm Pink(カレスウォームピンク)」(数量限定)、8月には「Decorte Lumiés Idelat(デコルテリュミエス イデラ)」の新色「Idelat Indigo Navy(イデラインディゴネイビー)」(数量限定)を発売いたしました。

これらの商品の販売が好調に推移し、さらに、2025年8月23日から9月30日まで実施した分割手数料優遇施策も奏功したことにより、既存顧客の購入件数及び購入単価が共に増加いたしました。

EC販売においては、店舗販売との連携強化を継続したことで、定期販売の単価及び件数が増加いたしました。さらに、インフルエンサーの活用やメルマガ・LINE等による情報発信を通じて消費者との接点を拡大し、購買意欲の向上に寄与した結果、売上高は前年同期比12.5%増と好調に推移いたしました。

加えて、販売社員の生産性向上を目的とした教育研修の充実を図った結果、一人当たりの売上高が着実に向上いたしました。

以上の結果、売上高は93億4百万円(前年同期比5.7%増)、セグメント利益は2億10百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

#### [マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売をしております。

当中間連結会計期間において、国内の出生数が統計開始以来、過去最少の見込みとなる厳しい状況が続く中、「助産院監修シリーズ」などターゲット顧客層に効果的にアプローチする商品の展開により、マタニティインナーの販売が好調に推移いたしました。

さらに、「助産院監修シリーズ」が他社モールにおいて、ランキング1位を獲得するなど、好評を博しました。

一方で、将来的な利益体質の強化を見据え、広告費の最適化に向けて抑制した結果、一時的に売上に影響が出ましたが、経費全体の見直しを着実に進めたことで収益構造の改善を推進いたしました。

以上の結果、売上高は5億2百万円(前年同期比10.1%減)、セグメント損失は6百万円(前年同期は30百万円のセグメント損失)となりました。

#### [婚礼・宴会関連事業]

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの、飲食事業の運営をしております。

当中間連結会計期間において、「GRAND FESTA HAKATA(グランフェスタ博多)」(福岡市・2024年7月グランドオープン)が認知度向上により着実に増収で推移いたしました。

また、直接雇用を強化するなど、店舗運営効率を向上させ、収益改善を推進いたしました。

以上の結果、売上高は4億36百万円(前年同期比18.7%増)、セグメント損失は71百万円(前年同期は1億16百万円のセグメント損失)となりました。

[その他]

その他においては、美容室などの、美容関連事業の運営をしております。

当中間連結会計期間において、スタイリストの採用環境が厳しい中、採用遅れによる人員の減少に伴い、売上高は減収となりました。

一方、中長期的な成長基盤の構築を目指し、スタイリストの育成及び集客力の強化に向けた先行投資を継続的に実施いたしました。

以上の結果、売上高は2億91百万円(前年同期比8.2%減)、セグメント損失は22百万円(前年同期は14百万円のセグメント損失)となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は134億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億54百万円減少いたしました。これは主に、短期貸付金の増加及び売掛金の減少、現金及び預金の減少、関係会社短期貸付金の減少、商品の減少の結果によるものであります。

#### (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産は58億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。これは主に、退職給付に係る資産の増加、建物及び構築物の減少、土地の減少、繰延税金資産の減少の結果によるものであります。

#### (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は40億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億44百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の増加及び1年内返済予定の長期借入金の減少、買掛金の減少、未払法人税等の減少の結果によるものであります。

#### (固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債は6億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億85百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少の結果によるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は146億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加及び自己株式の増加による減少の結果によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は16億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ、4億53百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は11億37百万円(前年同期は2億30百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少7億80百万円、税金等調整前中間純利益の計上3億56百万円、棚卸資産の減少3億31百万円、利息の受取額2億12百万円等による資金の増加、法人税等の支払額2億77百万円及び仕入債務の減少2億6百万円等による資金の減少によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は7億81百万円(前年同期は7億95百万円の増加)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入37億50百万円、関係会社貸付金の回収による収入4億円等による資金の増加、貸付けによる支出49億円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は8億9百万円(前年同期は15億11百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の純増額1億円等による資金の増加、長期借入金の返済による支出6億75百万円及び自己株式の取得による支出1億40百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、当中間期における業績は計画に対して順調に推移しており、2025年5月15日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に、現時点において変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,122,088	1,668,388
売掛金	5,496,679	4,715,310
商品	1,602,749	1,319,914
原材料及び貯蔵品	345,938	297,719
短期貸付金	—	1,150,000
関係会社短期貸付金	4,200,000	3,800,000
その他	778,476	709,669
貸倒引当金	△208,092	△177,622
流動資産合計	14,337,840	13,483,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,198,667	2,122,333
その他(純額)	1,685,453	1,643,310
有形固定資産合計	3,884,121	3,765,643
無形固定資産	198,853	182,383
投資その他の資産		
その他	1,863,648	1,946,463
貸倒引当金	△82,244	△82,492
投資その他の資産合計	1,781,403	1,863,970
固定資産合計	5,864,378	5,811,998
資産合計	20,202,218	19,295,378
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,299,088	1,092,898
短期借入金	50,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	1,074,725	634,186
未払法人税等	334,045	185,545
賞与引当金	123,886	125,000
ポイント引当金	98,000	94,000
株主優待引当金	64,509	41,646
資産除去債務	1,828	35,143
その他	1,631,860	1,674,928
流動負債合計	4,677,942	4,033,349
固定負債		
長期借入金	281,464	46,062
資産除去債務	504,573	469,688
その他	108,796	93,887
固定負債合計	894,833	609,639
負債合計	5,572,776	4,642,988
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	1,384,957	1,502,116
自己株式	△97,747	△238,628
株主資本合計	14,252,548	14,228,827
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	376,893	423,562
その他の包括利益累計額合計	376,893	423,562
純資産合計	14,629,441	14,652,389
負債純資産合計	20,202,218	19,295,378

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	10,021,970	10,510,275
売上原価	2,536,133	2,632,748
売上総利益	7,485,836	7,877,526
販売費及び一般管理費	7,458,508	7,765,334
営業利益	27,328	112,192
営業外収益		
受取利息	185,609	212,845
助成金収入	—	73,786
その他	22,093	26,570
営業外収益合計	207,703	313,201
営業外費用		
支払利息	110,894	40,405
支払手数料	975	18,054
その他	12,675	14,227
営業外費用合計	124,545	72,687
経常利益	110,486	352,706
特別利益		
固定資産売却益	—	7,273
その他	—	521
特別利益合計	—	7,794
特別損失		
固定資産売却損	8,522	—
減損損失	163	449
固定資産除却損	2,605	2,837
災害による損失	2,130	—
貸借契約解約損	363	902
特別損失合計	13,786	4,188
税金等調整前中間純利益	96,700	356,312
法人税、住民税及び事業税	122,232	129,540
法人税等調整額	△16,988	9,505
法人税等合計	105,244	139,046
中間純利益又は中間純損失(△)	△8,543	217,266
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	△8,543	217,266



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△8,543	217,266
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△46,881	46,668
その他の包括利益合計	△46,881	46,668
中間包括利益	△55,425	263,935
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△55,425	263,935
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	96,700	356,312
減価償却費	194,398	173,380
減損損失	163	449
長期前払費用償却額	7,773	7,228
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,297	△30,221
賞与引当金の増減額(△は減少)	80,200	1,114
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,000	△4,000
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△76,983	△22,863
受取利息	△185,609	△212,845
支払利息	110,894	40,405
助成金収入	—	△73,786
受取保険金	—	△521
災害による損失	2,130	—
有形固定資産売却損益(△は益)	8,310	△7,273
売上債権の増減額(△は増加)	203,069	780,928
棚卸資産の増減額(△は増加)	△92,300	331,053
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△36,054	△42,068
前払費用の増減額(△は増加)	6,433	△15,820
未収消費税等の増減額(△は増加)	36,288	3,055
仕入債務の増減額(△は減少)	△251,395	△206,189
未払金の増減額(△は減少)	△159,472	△21,688
未払費用の増減額(△は減少)	87,852	34,466
前受金の増減額(△は減少)	△10,197	37,790
未払消費税等の増減額(△は減少)	73,314	△68,478
その他	78,304	111,365
小計	190,119	1,171,793
利息の受取額	187,786	212,256
利息の支払額	△126,663	△43,643
法人税等の支払額	△73,668	△277,177
法人税等の還付額	52,891	—
保険金の受取額	—	521
助成金の受取額	—	73,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,465	1,137,536
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
関係会社貸付金の回収による収入	—	400,000
貸付けによる支出	△4,050,000	△4,900,000
貸付金の回収による収入	5,050,000	3,750,000
有形固定資産の取得による支出	△175,111	△67,311
有形固定資産の売却による収入	4,000	70,057
資産除去債務の履行による支出	△6,792	△6,299
無形固定資産の取得による支出	△30,570	△22,851
差入保証金の差入による支出	△5,557	△9,771
差入保証金の回収による収入	12,365	7,529
その他	△3,239	△2,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	795,094	△781,374

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△1,274,461	△675,939
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,448	△17,623
自己株式の取得による支出	△0	△140,880
自己株式取得のための預託金増減額(△は増加)	—	47,097
配当金の支払額	△101,284	△99,652
株主優待費用による支出	△76,983	△22,863
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,511,177	△809,861
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△485,617	△453,700
現金及び現金同等物の期首残高	2,564,827	2,122,088
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,079,210	1,668,388

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,803,793	554,077	347,930	9,705,801	316,169	10,021,970
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,180	4,817	19,404	25,402	1,502	26,904
計	8,804,973	558,894	367,335	9,731,203	317,672	10,048,875
セグメント利益 又は損失(△)	187,354	△30,920	△116,909	39,523	△14,227	25,296

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	10,021,970
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	△26,904	—
計	△26,904	10,021,970
セグメント利益 又は損失(△)	2,032	27,328

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,032千円には、減価償却の調整額が含まれております。  
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	9,303,558	492,575	424,261	10,220,395	289,879	10,510,275
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,180	9,926	11,790	22,897	1,873	24,770
計	9,304,738	502,501	436,052	10,243,293	291,752	10,535,046
セグメント利益 又は損失(△)	210,885	△6,767	△71,367	132,749	△22,418	110,331

(単位: 千円)

	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	10,510,275
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	△24,770	—
計	△24,770	10,510,275
セグメント利益 又は損失(△)	1,860	112,192

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,860千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当中間連結会計期間において、2025年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,720,100株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が140,880千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が238,628千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。